

タイトル

環境保全の三本柱

～公園管理＝地球管理～

ヒートアイランド現象
への対策

生物多様性保全

脱炭素

- 木かげの活用
花苗を増やす
↳ 暑さに強い品種

- 壁面緑化
屋緑化

- 適切な芝生管理
↳ エリアを分けずの管理
(① 手つかずの自然を残すエリア
② 利用エリア)

- 外来植物の駆除
(オオハシバミ防除など)
↳ ボランティアを活用イベント
などで連携を図る。

- 樹林地の密度管理で
生物種を増やす。

- ゴミ対策
- 緑のリサイクル
↳ 廃材を利用イベント
ワークショップで再利用
↳ 落ち葉を腐葉土として
利用
↳ 廃材を木材チップとして
再利用 遊具の安全対策

タイトル

[井めぐる、つながる、うるおる 〜 みんなでつくる、見守る 循環型公園 〜]



ヒートアイランド

循環

台風

対策として...

- ・ 屋上緑化 壁面緑化
 - ・ 雨水利用
- 対策として...

人前: 地下ダムにためる

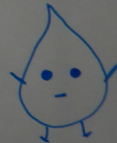
景観

洪水

- ・ 台風前... すかし剪定!
- ・ 市民 (ボランティア、地域の人) 参加
- ・ 樹木医などの専門家の活用
- ・ 定期的なイベントにする。
- ・ 剪定枝を利用し 生き物のすみかにする

対策

- ・ 雨庭 レインガーデンをつくる。
- ・ 水はけのよい排水口をもうける
- ・ ナチュラルスティックガーデンやる。



2023年 11月 11日

班番号

3

進行役

書記係

発表者

タイトル

地域でつくる植栽管理

生物多様性

- 様々な種類の樹種を植える
- 効率の良い森林づくり
- 大径木の計画的な管理(間伐を行う)
- 折れ枝や倒木等を活用し、エコストックをつくる

ヒートアイランド

- 日照りに強い花や植物を使う
- 高木やゴーヤ等日陰をつくる

近隣住民のいこいの場

地域連携

- 地域と協力して植栽管理
カンタンな水やり、下草刈り
- ボランティアによる再度植栽
- バンクづくり

脱炭素

- 使用する機械類をエンジン(ガソリン)式から、バッテリー式のものに
かえる。● 手作業での
カンリ。

タイトル

[雨にも風にも負けない新しいサイクルの
植栽管理]

気候変動
による影響

改善案

植栽管理

・土砂災害

・ベニバナ畑

・花壇花苗の枯損

・倒木

・開花・紅葉時期の変化

・熱中症 (利用者、スタッフ)

・テラ枯れ

・排水性の改善

・水やりの時間の見直し

・日常点検、樹木診断

・花の品種の再検討

(公園のテーマに合わない場合には
利用者とも相談)

・植栽時期の見直し

・募金活用・クラウドファンディング

・公共交通機関の利用を呼びかける

公園が気候変動を
食い止める!!



タイトル

[

パーク・サイクル

バランスを
考えろ！

生物多様性

- ・草の刈り残して生物のすみか
- ・枯れかけの枝を残してキツキのすみか
- ・カヤネズミのすみか
- ・虫のコーナー

外に出さない！

脱炭素

発生材

落ち葉... 腐葉土
剪定枝... 木屑

天然米斗

ガソリン → 電気

再生可能エネルギー
たのしみ、なみよし！

園内で
活用！

ヒートアイランド

自然系素材にねえろ

砂地 → 芝生
アルファルト → 木質チップ

- ・グリーンカーテン
- ・蒸散しやすい樹種の選択

R 5 年 11 月 11 日

班番号 5 班

進行役

書記係

発表者

タイトル
[

子どもと作るカブトムシの里！

2023 年 11 月 11 日
班番号 6 班
進行役
書記係
発表者

[問題点]

温暖化

- ・花のつぎひに变化
- ・病虫害(ナメクジなど)
- ・熱中症
- ・芝生枯れ

[対策]

- ・脱炭素
- ・緑化の推進
- ・普及啓発

園内発生材でつくる
バイオネスト

在来植物の
グリーンカーテン

[未来の姿]



生き物のすみかと自然観察会の会場に!!

タイトル

全ては繋がっている！循環を
取り戻せ！！

環境問題による 影響



対策

・エサの
の活用

① 桜等の早期落葉
(絶物)



対策 ハンマーによる点検

- ・樹木医診断による
優先度 決め
- ・土壌改良
↳ 落葉の活用
枝のチップ化

② 異常気象による
生物相への
影響



- ・幅刈り
- ・日除け
創出

③ 雨水の減少・増加



- ・河川の取水
- ・土壌改良
- ・雨水の利用

2023 年 11 月 11 日
班番号 7
進行役
書記係
発表者

タイトル

[

うるおいある公園づくり ～人も生物もうるおいを!!～

]

5年11月
班番号 8
進行役
書記係
発表者

課題



① ヒートアイランド

② 外来生物

③ 人不足

人

対策

- ボランティアの活用
- 老幼中症対策 (健康第一)
↳ アラ-4 設定、休憩
- 草を刈るに強い植造物 (ハーブ)
↳ 水やりの手間削減
- 地域協働 + 環境教育

環境

- 植物で日陰を作る
(樹冠を広げて日陰により温度を下げる)
- あえて除草せず 動植物の逃げ場を作る
- クビアカツヤカミキリをつかまえるイベント

タイトル

地域住民に愛される環境づくり

2023年11月11日

班番号

9

進行役

書記係

発表者

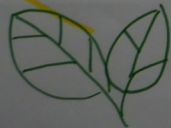
生物多様性

木の刈高を
調整して下草刈り

その土地に
合った植物の
植栽

エリア分けで
様々な生物
ガーデン・森・野草広場

ビオトープ
里山づくり



メンテナンス

剪定は
木剪り機で

枯損木落葉
たい肥化

広葉樹の落葉の
たい肥化と
花壇への使用

季節に応じた
草刈り頻度の
調整

脱炭素

屋上緑化

四阿の緑化

手入れしやすい
樹種を植える

グリーンカーテン

市民参加

愛される公園

タイトル

管理者
と❤️

公園管理運営実践講習「I」グループディスカッション 提案書

2023 年 11月 11日

班番号 10 班

進行役

書記係

発表者

[一緒につくる! ありのま公園]

環境
生物多様性

管理者が
手がける

ありのま/地域つな
手がける

外来種の
除去

イコロケーションの
作成

脱炭素

ウッドチップ
発生量の
再利用

エコステック
(落枝再利用)

環境
講座

ヒートアイランド

中高木の
剪定計画の
見直し

グリーンサテン
緑陰の
提供

企業CAKの利用
による植栽

2023 年 11 月 11 日

班番号

11

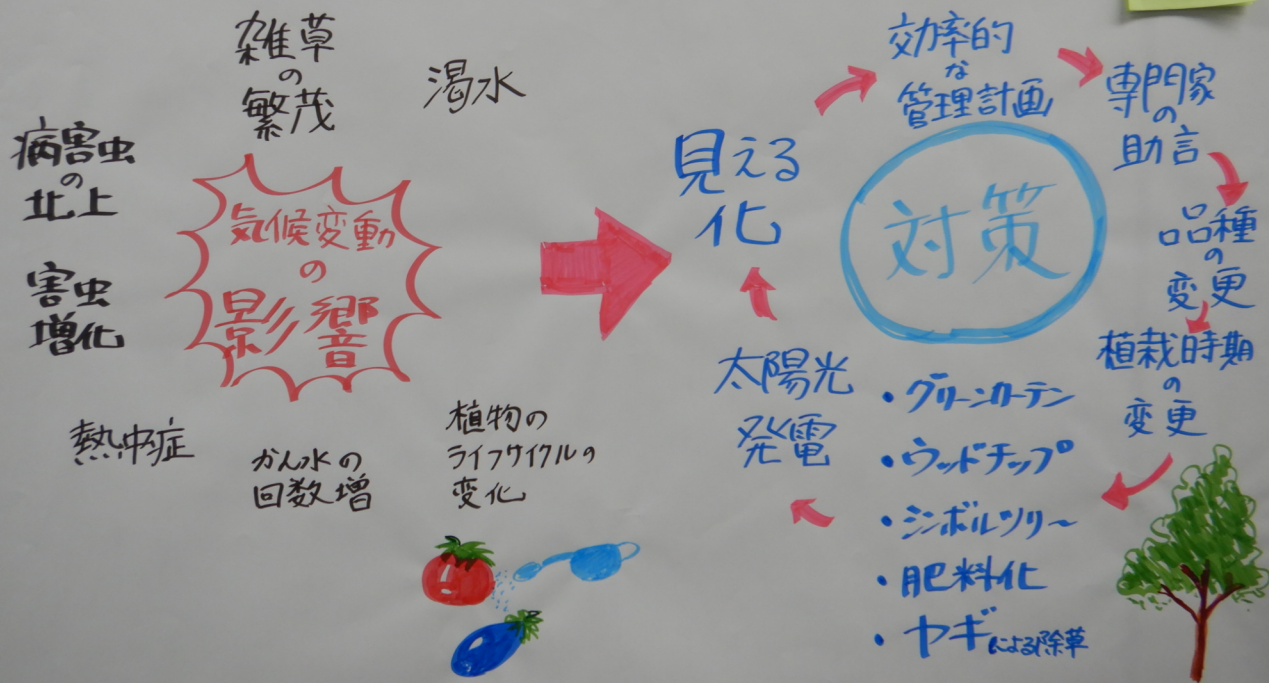
進行役

書記係

発表者

タイトル

循環型パークマネジメントの提案



タイトル

みんなでつくる未来の公園

2023	年	11	月	11	日
班番号	12				
進行役					
書記係					
発表者					

(解説板として
公園利用者の
共有)

生物
多様性

・マスタープランを作る

・定期的モニタリング

(在来種を守るための
外来種の駆除的除草)

(虫や植物を守る保全ネット
おいて草刈りした場所！)

ヒート
アイランド

脱炭素

駐車場緑化

日陰スポット作る

屋上緑化

風の道を作る

郊外化

・植物管理ロボットを活用！

・活動の一部を近隣学校へ
活動に次世代を育む！

排出量減らす
・電化
・木材の活用

吸収量増やす
・竹を植える
・古い木更新

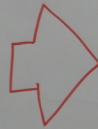
タイトル

[

食べられる公園

課題

気象変動
温暖化
台風の激化
による
植物の生育不良
水不足



提案

厳しい条件に
対応できる
農作物を
公園で育てる!



排泄
熱を
利用

→ して効率的に!

ゴーヤ
ソノバ
シーワーカー
サツマイモ
など

効果

- ・循環型の管理
- ・農作物を利用者に還元できる
- ・斜面で育てて雨による土壌流出を防ぐ
- ・栽培体験等で利用者が参加できる
- ・緑量を保てる

2023年11月11日
班番号 13
進行役
書記係
発表者

タイトル

循環型 植栽管理

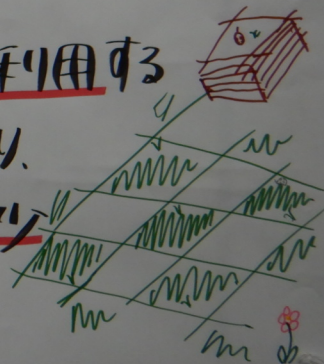
課題

① 猛暑による草・花等の生育異常

- ・草の伸びがはやく、計画通りにいかない!
- ・予算や人手が足りない

提案

- ・バイオネット、ビオトープで剪定枝・草を再利用する
- ・生き物の生息地確保(逃げ場)を作り、刈る・残す場所を明確にし、面積減す



タイトル

[

気候変動に負けるな!!

]

2023年 11月 11日
班番号 15
進行役
書記係
発表者

人にも.環境にも.おサイフにもやさしい植栽管理

気候に合った植栽(品種選択.品種バリエーション)

生物多様性に配慮した草刈手法

機械化自動化.

自動草刈機(ソーラー)

電動草刈機(CO削減)

計画的樹林管理

(大径木.危険木)

優先順位.計画的
設計段階から配慮

※ アナウンス・教育へ

タイトル

実現可能な緑の再生

～小さなことからコツコツと～



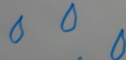
温暖化が公園に与える影響

- ・外来生物の発生、生態系への影響
- ・植栽(芝生、花木)への悪影響
- ・樹木の管理 ← 予算がかからない



雨水を利用
する

かん水コストの低減



企業と連携して
プロジェクト化

都市型緑化
の推進



花だんの
植えかえ回数
減らす



チップたい肥化に
よるリサイクルの

実現

タイトル

[みんなでつくる豊かな公園]

課題の整理

- ・花壇の管理が大変
(水やり等)
- ・雑草生育がはやり
- ・水やり回数の増加
- ・病虫害発生率増加
- ・夏暑すぎることによる
利用者減少
- ・イベントでまわり
日陰不足
- ・倒木, ナラ枯れ増加

対策

管理方法
植える植物
の工夫 (地域の
在来種)
あえて手を入れない
場所を作る
観音スポート

雑木林の
更新

みんなで!
地域の
環境調査

体験
イベント

ボランティアと
一緒に里山管理

日	5	年	11	月	11	日
班番号	17					
進行役						
書記係						
発表者						